SMH10 Motorcycle Bluetooth® Headset & Intercom

ユーザーガイド

（保証書）

version 5.0 **(ユニバーサル機能追加)**

（2014 年 3 月 1 日発行）

この度は本ユーザーガイドをご利用いただき誠にありがとうございます。
本ユーザーガイドは、セナブルートゥース ジャパンが正規品購入の方向けに作成、配布しております。
無断で複製、譲渡、または会員サイト以外のリンクを通してのダウンロードはしないでください。

http://Senabluetooth.jp

製品取扱について....4
バッテリーの取扱、充電、保管など....8
製品の維持管理....8
製品の廃棄....8
はじめに....9
製品機能・仕様....10
製品パッケージ....11
シングルパック(1 人用セット)....11
デュアルパック(2 人用セット)....11
標準同梱品....12
装着・操作方法....15
ステップ１　ヘルメットに SMH10 のクランプユニットを取付ける....15
ステップ２　マイクの位置を調整....16
ステップ３　スピーカーの取り付け....16
ステップ４　SMH10 メインユニットの取付・取り外し....16
携帯電話とペアリング....19
2 台目の携帯電話（HFP 機器）とマルチペアリング....19
GPS ナビの MP3 機能等を使用しながら携帯ともマルチペアリングする方法....20
使用するペアリングを選択してペアリングする方法(A2DP/HandsFree)....21
A2DP(ステレオ音楽再生専用)とペアリング....21
HFP(HandsFreeProfile)とペアリング....21
Bluetooth MP3 音楽プレーヤーとペアリング....22
Bluetooth GPS ナビ・レーダー探知機とペアリング....22
SR10 とペアリング....22
SM10 とペアリング....23
SMH10 各種設定メニュー機能....26
音量調整....30
携帯電話(スマートフォン)と使う....30
電話着信時に、通話を開始....30
着信電話を応答拒否する....30
Bluetooth 機器の切り替え....30
電話をかける・電話にでる方法....30
スピードダイヤル機能を使用して電話をかける....31
インカム(SMH10 同士)の通話開始と通話相手の選択....32
インカム通話を終了する....32
インカムと携帯電話着信との関係....32

インカムと GPS ナビとの関係.....32
インカムと SR10 との関係.....33
3 者同時通話機能.....33
4 者同時通話機能.....34
ライダーとタンデマー間のミュージックシェア（音楽共有）機能.....35
ユニバーサルインターコム（他社インカムとの会話）機能.....36
知るべきポイント.....36
3-way の接続方法　（SMH10x2、ユニバーサル x1）.....37
4-way の接続方法　（SMH10x2、ユニバーサル x2）.....38
4-way の接続方法　（SMH10x3、ユニバーサル x1）.....38
電話と２台の SMH10 で会議通話.....39
インカム相手につながらない場合.....39
自動的に再接続する場合.....39
音楽プレーヤーの再生.....40
MP3 音楽プレーヤーと SMH10 との接続方法.....40
音量調整.....40
再生と停止.....40
早送り、巻き戻し.....40
機能に優先順位あり.....41
工場初期化（工場出荷状態）する.....41
SMH10 がサポートする Bluetooth プロファイル一覧.....42
動作不具合が生じたとき.....42
ファームウェア・アップグレード.....42
免責・製品保証.....43
障害修理票.....39
製品保証書、お問い合わせ.....40

製品取扱について

本製品を安全にお使いいただくために

- ○ 本機、メインユニット、マイクロフォン・スピーカー、クランプユニットおよびアクセサリーを正しく使用するために、必ずお読みください。
- ○ この記載内容を守って製品をご使用ください。
- ○ パソコンや接続される機器の故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取扱いを謝ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象にはなりません。

表記の意味

警告表示の意味

警告　人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

傷害や事故の発生を防止するための禁止事項

一般禁止　その行為を禁止します。

接触禁止　特定場所に触れることで傷害を負う可能性を示します。

火気禁止　外部の火気によって製品が発火する可能性を示します。

分解禁止　分解することにより製品が発火する可能性を示します。

傷害や事故の発生を防止するための指示事項

使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。

電源コードのプラグを抜くように指示するものです。

警告事項

本製品を道路上での使用については、各地方自治体の条例、各都道府県の道路交通法に従って下さい。

電源ケーブルを傷つけたり、加工、加熱、修復したりしないでください。火災がおきたり感電するおそれがあります。

本製品の内部に次のような異物を入れないでください。
金属物、水などの液体、燃えやすい物質、薬品等回路がショートして火災の原因になります。

本製品を改造・分解しないでください。
感電、発煙、発火の原因になります。

ボタンに過剰な圧力をかけないでください。
ボタンに過剰な圧力をかけたり、必要以上に押し続けると、故障の原因になります。

AC100V(50/60Hz)以外のコンセントには、絶対にプラグを差し込まないでください。
異なる電圧で使用すると、感電、発煙、火災の原因になります。

電源ケーブル（または AC アダプター）は必ず本製品付属のものをお使いください。また、製品添付の電源コード（または AC アダプター）を他の機器には使用しないでください。
本製品付属以外の電源ケーブル、AC アダプターをご使用になると、感電、発煙・発火のおそれがあります。

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりした場合には、すぐに AC アダプターを抜いてください。
そのまま使用し続けると、ショートして火災になったり感電したりするおそれがあります。

煙がでたり異臭がしたり音がしたら、AC コンセントからプラグを抜いてください。
そのまま使用し続けると、ショートして火災になったり感電したりするおそれがあります。

本製品を、風呂場など、水分や湿気の多い場所では使用しないでください。
感電、火災の原因になるおそれがあります。

周辺機器は、マニュアルの記載されている手順に従って正しく取り付けてください。
正しく取り付けられていないと、発煙、発火の原因になります。

電源製品のケーブル、コネクター類、付属品など小さなお子様の手が届かないように機器を設置してください。
けがをするおそれがあります。

化学溶剤、洗滌剤などを使わないでください。

製品をペイント等で塗装しないでください。

注意事項

電源ケーブルが AC コンセントに接続されているときには、濡れた手で本製品に触らないでください。
感電するおそれがあります。

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に身近な金属（ドアのノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。
身体の静電気が本製品を破損するおそれがあります。

次の場所には放置しないでください。
・感電、火災の原因になり、製品に悪い影響を及ぼすかもしれません。
・強い磁界が発生するところ（故障の原因）
・静電気が発生するところ（故障の原因）
・振動が発生するところ（故障、破損の原因）
・平らでないところ（落下などでけがの原因）
・直射日光があたるところ（故障や変形の原因）
・火気周辺、熱気がこもるところ（故障や変形の原因）
・漏電の危険のあるところ（故障や感電の原因）
・漏水の危険のあるところ（故障や感電の原因）

本製品を破棄するときには、各地方自治体の条例に従ってください。
内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

本無線機器を安全にお使いいただくために

正しく使用するために必ずお読みください。
この記載内容を守って製品をご使用ください。

パソコンや接続される機器の故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取扱いを誤った故に生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象にはなりません。

⚠ 警告

無線機器について
・心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用されている近くで本製品をご利用にならないでください。
・医療機関内でのご利用の際には、各医療機関の案内及び指示に従ってください。
・医療機関内では、本製品の電源を切るなど無線機能を無効にしてください。これは、万が一医療機器への影響を与えて事故の原因となる恐れを防ぐためです。ご利用に関しては各医療機関の案内及び指示に従ってください。
・交通機関内でのご利用は各交通機関の案内及び指示に従ってください。交通機関では、本製品の電源を切るなど無線機能を無効にしてください。これは、万が一各交通機関の制御装置や機器への影響を与えて事故の原因となる恐れを防ぐためです。特に航空会社については、航空機の飛行状況などによって、機内での電子機器や無線機器の利用を禁止しています。航空機の装置等へ影響を与えて事故の原因となる恐れがあるため、本製品は航空機内ではご利用にならないでください。詳しくは、各交通機関へお問い合わせください。 電子レンジの近くで本製品をご利用にならないでください。
・電子レンジを使用するとき、電磁波の影響によって無線通信が妨害される恐れがあります。このため電子レンジの近くで本製品をご利用にならないでください。これは、電磁妨害によって本製品の通信が途絶えたり、動作が不安定になるのを防ぐためです。
電波について
・本製品の無線の周波数帯は、医療機器、電子レンジ等の産業・科学機器や、工場の生産ラインなどで使用されている移動体識別装置用の構内無線局や、特定省電力無線局と重複しているために、電波の干渉による無線通信の障害が発生する恐れがあります。本製品のご利用の前に、干渉範囲に移動体識別装置用の構内無線局や特定無線局が運用されていないことを確認してください。
・万が一、本製品使用中に移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波の干渉が発生した場合には、速やかに周波数を変更するか、使用を中止して下さい。
・その他、本製品から移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波干渉などで何かお困りのことが発生しましたら、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
その他
Bluetooth 搭載機器の場合は対応プロファイルによってご使用できない場合もございますのでご了承ください。なお、プロファイルの確認についてはご使用の Bluetooth 機器のユーザーガイドをご覧ください。

安全にお使いいただくために必ずお守りください。

2012 年 4 月 1 日　初版
発行　株式会社インターソリューションマーケティング

バッテリーの取扱、充電、保管など

取扱について
SMH10 には、メインユニットに内臓されており、一体型バッテリーとなっています。バッテリーを本体から分離、分解することを固く禁止します。

充電について
バッテリーへの充電は数百回以上できます。しかし、寿命になると充電できなくなりますのでご了承ください。充電する場合、本製品の同梱された充電機器、充電用ケーブルのみ使用するように御願いします。それ以外の充電器、ケーブルを使う場合、火事、爆発、炉電など生じる場合があり大変に危険です。

保管環境
（温度）保管する温度は、常温の 15C から 25C の場所に御願いします。保管場所が、それよりも低温、または高温の場合にはバッテリーの性能が急激に低下し、場合によっては正常に動作しないこともあります。特に 0C 以下の場合には、性能が大きく低下します。

（場所）火器に近付けたり火に投げ込んだりしないようにしてください。爆発することがあります。また、外部から衝撃を与えないでください。その時にも爆発することがあります。

（動作時間）バッテリーの動作時間は、使用環境、機能の使用状態、動作状態、バッテリーの寿命と保管状況・温度などさまざまな条件によって変更します。

製品の維持管理

製品のユーザーガイド、及び、製品を安全に使うために、の項をよくお読みいただき、製品の維持管理並びに製品の取扱にご注意をくださいますよう御願いします。

製品の廃棄

本製品パッケージに上のこのマークは、電子製品、その部品、アクセサリー、バッテリーなどを廃棄する場合、適切な方法に従い（例えば、分別処理廃棄が必要な場合、廃棄前に廃棄できる状態にして）行うようにお知らせしています。これは分別処理するシステムが適用されているすべての地域に適用されます。環境汚染の防止、無分別な廃棄による健康への害がないように、本製品を他の一般ごみと一緒に廃棄することないように御願いします。廃棄の際、分別処理について不明な場合には、最寄りの各地方自治体へお問い合わせください。

はじめに

Sena SMH10 は、オートバイ用に設計された Bluetooth ステレオヘッドセット・インカムです。ハンズフリーに Bluetooth 携帯電話で会話、音楽をクリアーにステレオで聴く、Bluetooth GPS のナビゲーションを聞く、Sena SMH10 を使うライダー同士で電話のように互いに話す。そのようなことを実現します。ワンタッチのジョグダイヤル操作で相手を選んで会話、ワンプッシュ操作で機能を切り替えて電話通話やナビ音声案内を聞く。Sena SMH10 によって、ツーリングの楽しさが、倍増します。

特長

・Bluetooth v3.0
・通話距離 900m
・マルチペアリング機能：　４人のヘッドセットをペアリング
・SBC コーデック：　クリアーで上質なサウンド
・AVRCP 対応：　ヘッドセット側から音楽の再生、停止、早送り、戻りをコントロール
・ジョグダイヤル：　シンプルかつ正確に機能切り替えが可能
・ミュージックシェア機能
・ユニバーサルペアリング機能：Sena インカム以外のヘッドセットとペアリング
・スピードダイヤル機能
・USB 端子からファームウェアのアップグレード
・使用中に充電可能
・日本語音声案内

製品機能・仕様

仕様	
一般仕様	●通話時間：約 12 時間 *1 ●待受時間：約 10 日間 *2 ●通話距離（インカム）：最長 900m（見通しの良いところ）*3 ●サイズ ・ヘッドセット：84.1 x 56.5 x 38.6（mm） ・クランプユニット：223.8 x 85.5 x 30.6（mm） ・ ●重量 ・ヘッドセット：60g ・クランプユニット：84g
Bluetooth	●Bluetooth Profiles： ・Headset Profile ・Hand-Free Profile（HFP） ・Advanced Audio Distribution Profile（A2DP） ・Audio Video Remote Control Profile（AVRCP） ●Bluetooth v3.0
オーディオ	●オーディオ SBC コーデック対応 ●ノイズキャンセリング機能 ●風切り音削減機能 ●サンプルレート　48kHz(DAC) ●AUX 3.5mm オーディオジャック
バッテリー	●バッテリー充電時間：約 2.5 時間 ●タイプ：リチウムポリマーバッテリー
認証	CE, FCC, TELEC, IC

（注意事項）
*1 待受時間とは、Bluetooth を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
*2 待受・通話時間は、バッテリーの充電状態、設定状況、気温などの使用環境やご利用者様のご利用頻度により変動します。
*3 電波に影響をあたえる環境、遮蔽物にありなし、また、機器のバッテリー状況で通話距離は変動します。

製品パッケージ

シングルパック(1 人用セット)

製品番号：0410001C
JAN コード：4560246091959
製品名：SMH10-10 ブーム型クランプユニット シングルパック
外形寸法（L x W x D）：246 x 147 x 81 (mm)
重量：721g

製品番号：0410001D
JAN コード：4560246091966
製品名：SMH10-11 フルフェース向き、SMHA0302 ケーブル型クランプユニット シングルパック
外形寸法（L x W x D）：246 x 147 x 81 (mm)
重量：721g

デュアルパック(2 人用セット)

製品番号：0410002C
JAN コード：4560246091973
製品名：SMH10D-10 ブーム型クランプユニット デュアルパック
外形寸法（L x W x D）：266 x 169 x 92 (mm)
重量：1,114g

製品番号：0410002D
JAN コード：4560246091980
製品名：SMH10D-10 フルフェース向き，ケーブル型クランプユニット デュアルパック
外形寸法（L x W x D）：266 x 169 x 92 (mm)
重量：1,114g

- **シングルパックにはメインユニット、付属品が1セット入っています。**
- デュアルパックにはメインユニット、付属品が 2 セット入っています。
- AC 電源アダプターは別売りです。

標準同梱品

製品番号: 0410001C/0410001D(ブームマイククランプユニットセット)

	SMH10 メインユニット		SMH-A0108 3.5mm オーディオジャックケーブル
	SMH-A0301 スピーカー&ブームマイク クランプユニット		貼付け式 メインユニット取り付けパッド
	SMH-A0107 車載シガレット電源チャージャー		スピーカー用ベルクロパッド
	マイクスポンジ		SMH-B0106 充電用 USB 電源ケーブル (ファームウェア更新用)
	スピーカー用スポンジパッド		スピーカー／マイクロフォン 取付用アレン六角レンチ

製品番号: 0410002C/0410002D(ユニバーサルクランプユニットセット)

	SMH10 メインユニット		SMH-A0108 3.5mm オーディオジャックケーブル
	SMH-A0302 スピーカー&ケーブルマイク ユニバーサルクランプユニット		貼付け式 メインユニット取り付けパッド
	SMH-A0107 車載シガレット電源チャージャー		スピーカー用ベルクロパッド
	マイクスポンジ		SMH-B0106 充電用 USB 電源ケーブル (ファームウェア更新用)
	スピーカー用スポンジパッド		スピーカー／マイクロフォン 取付用アレン六角レンチ

・シングルユニットにはそれぞれ一つ、デュアルユニットには２セットづつ同梱されています。

アクセサリー （別売り製品）

	製品番号 JAN コード	製品名	サイズ	重量
	0410011 4560246091157	SMH-A0301 スピーカーマイクロフォン クランプユニット (Speaker-Microphone Clamp)	235 x 105 x 30 (mm)	136g
	0410021B 4560246091164	SMH-B010X 充電用 DC 電源アダプターと充電用 USB 電源ケーブル *1 (DC アダプタ/mini USB 端子)	125 x 85 x 35 (mm)	120g
	0410022B 4560246091522	SMH-B0106 充電・ファームウェアアップグレード用 USB ケーブル (USB/mini USB 端子)	125 x 85 x 35 (mm)	55g
	0410023B 4560246091539	SMH-B0107 車載シガレット電源チャージャー (mini USB 端子)	125 x 85 x 35 (mm)	73g
	0410024 4560246091195	SMH-A0108 3.5mm ステレオ/オーディオ ジャックケーブル (3.5mm Stereo Aduio Cable)	125 x 85 x 35 (mm)	38g
	0410025 4560246091201	SMH-A0201 取付用アクセサリーセット (Mounting Accessories) *2	125 x 85 x 35 (mm)	30g
	0410026 4560246091218	SMH-A0202 スピーカー/マイクロフォン取付用バックプレートとクランプユニット (Backplate for Speaker-Microphone Clamp Unit) *3	125 x 85 x 35 (mm)	36g

*1 製品番号 0410021、SMH-A0301 スピーカーマイクロフォン クランプユニットは、 製品番号 0410025、 SMH-A0201 取付用アクセサリー 1セットを含みます。

*2 製品番号 0410025、SMH-A0201 取付用アクセサリーは、貼付用取付アダプター(1) 、六角レンチ(1) 、マイクロフォン スポンジカバー(1) 、ベルクロ パッド(2)からなります。

*3 製品番号 0410026、SMH-A0202 スピーカー/マイクロフォン取付用バックプレートは、六角レンジ(1)、スクリューネジ(2)からなります。

用途別　スピーカーマイクロフォン

SMH10-A0301（標準/2つ目のヘルメット用）
標準　クランプユニット
製品番号:0410011
JAN コード:4560246091157

SMH10-A0302（オプション）
ブームマイク/ケーブル型マイク　クランプユニット
製品番号:0410012
JAN コード:4560246091300

SMH10-A0303（オプション）
ブームマイク/イヤフォンジャック　クランプユニット
製品番号:0410013
JAN コード:4560246091317

MH10-A0304（オプション）
マルチ型クランプユニット
製品番号:0410014
JAN コード:4560246091324

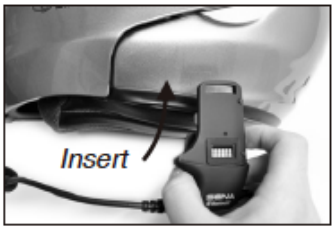
装着・操作方法

ステップ１　ヘルメットに SMH10 のクランプユニットを取付ける

ヘルメットの縁に挟み込んで取り付ける（推奨）

1 （取り付ける前）準備として、スピーカーマイク クランプユニットに固定されているクランプユニット（ネジ止めされている）を緩めてください。緩める時には、同梱されている六角アレンキー（レンチ）を使います。

2 （ヘルメットの縁に取り付ける）緩めたクランプユニットをヘルメットの縁に差し込み、ネジで固定します。差し込みは内側スポンジ側の中（頭に当たらないように）にします。



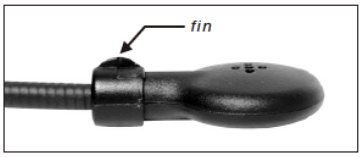
3 （ヘルメットにしっかりと固定する）クランプユニットのバックプレート上、2 箇所のネジを回して固定します。

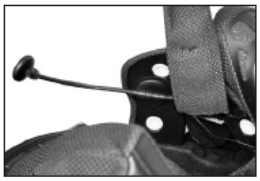
ヘルメットの縁に挟み込めない場合

1 クランプユニットのバックプレートを両面テープで貼ることもできます。同梱されているメインユニット取付用貼付アダプターを使ってください。
2（取り付ける前）ヘルメットにしっかりと貼ることができるように貼る箇所をきれいに拭いてください。拭いた後は、十分に表面を乾かしてください。両面テープ部分のカバーシールを剥がしてヘルメット表面に貼ってください。

ステップ２　マイクの位置を調整

1. クランプユニットをヘルメットに装着できたら、つぎは、ヘルメット内のマイク位置を決めます。次にマイクの向きを調整します。マイクについている三角マーク（▲）が口側のほうを向くように fin が外を向くように調整してください。2–4cm の位置が理想ですが、使用環境等によることなりますので、実際に使用しながら、調整してください。



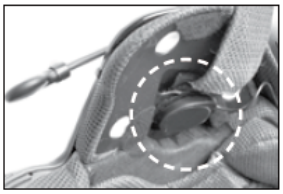


フルフェースヘルメット向けのケーブルマイクを使用する場合は、ヘルメット内のチンガード付近にベルクロパッドで取り付けてください。マイクの位置を口元から 2–4cm 以内の場所に取り付けてください。その後、スピーカーケーブルのコネクタに取り付けます。

マイクキャップを装着する事により、走行中のノイズや風切り音を削減できます。フィン側に装着してください。

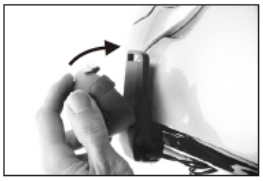
ステップ３　スピーカーの取り付け

1. 次にヘルメットにスピーカーを取り付けます。ヘルメット内のイヤーポケット部分、ちょうど耳が収まる若干前方付近にベルクロをつけたスピーカーを取り付けてください。最高の音質を実現するには、少し時間をかけてベストポジションを探してみることをお勧めいたします。

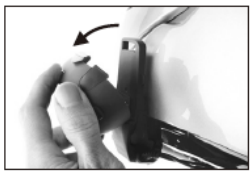


ステップ４　SMH10 メインユニットの取付・取り外し

1. SMH10 メインユニットを装着する。
ヘルメットに固定したスピーカーマイクロフォン クランプユニットにメインユニットを装着します。下の図のようにスピーカー･マイクロフォン･クランプ･ユニットの下側の溝にあてがい、上部の耳を軽く押しながらヘルメット側へ奥まで倒します。倒した後、抜けないことを確認してください。



2. SMH10 メインユニットを取り外す。
下の図のように上部の耳を人差し指で押して、ヘルメット側と反対方向へ引いてください。その耳を押しながら、優しくそっと引けば外れます。



操作方法

電源のオン・オフと充電

電源のオン

電源をオンにするには、Sena SMH10 メインユニットにあるジョグダイヤルとフォンボタンを同時に約 1 秒押してください。LED ランプが青色に点灯し、「ピロロ↗」というビープ音と共に「こんにちは」と聞こえます。

電源のオフ

電源オフにするには、Sena SMH10 メインユニットにあるジョグダイヤルとフォンボタンを同時に押すとすぐに「ピロロ↘」というビープ音が鳴り、「さようなら」と聞こえます。LED ランプが赤く点灯後、電源がオフになります。

充電

USB 電源ケーブルで PC につなぐか、市販の USB チャージャーで充電してください。フルに充電されると LED ランプが赤色の点灯から LED ランプが青色に変わります。フル充電までに約 2.5 時間かかります。

バッテリー低下の知らせ

低バッテリー状態になると、スタンバイモードで点滅している LED は青色から赤色に変わります。そして、ティティティと 3 回のビープ音が鳴り、バッテリーが低下していることを知らせます。

バッテリー残量のチェック方法

バッテリーの残量を知る方法は 2 種類あります。

- LED ランプ
  SMH10 がオンの時、赤色 LED がチカチカ光り、バッテリー低下を知らせます。
  4 回点滅：高 70〜100%
  3 回点滅：中 30〜70%
  2 回点滅：低 0〜30%

- 音声案内
  SMH10 の電源をオンにする時、そのままジョグダイヤルとフォンボタンを同時に 3 秒間押し続けると 3 回ハイトーンビープ音が鳴ります。それから、バッテリー残量が音声案内でお知らせされます。
  例：「バッテリーレベル、高」

SMH10 と Bluetooth 機器のペアリング

・携帯電話とペアリング
・MP3 プレーヤーとペアリング
・Bluetooth ナビゲーションとペアリング
・インカム通信をする SMH10 と SMH10 とのペアリング

SMH10 インカムと携帯電話や GPS ナビ、MP3 プレーヤー等をつなげるためには、”Bluetooth ペアリング“という設定をおこないます。ペアリング時に、”Phone Connected(携帯電話/スマートフォン接続)”,”Media Connected(音楽プレーヤー接続)”という音声案内が聞こえます。
＊Bluetooth プロファイルについては、本ユーザーガイド、操作の予備知識をご参照ください。

携帯電話とペアリング

携帯電話の Bluetooth 接続画面から Bluetooth デバイスを検索し、検索された Bluetooth デバイスの中から Sena SMH10 を選び、ペアリング（初期設定）を行います。

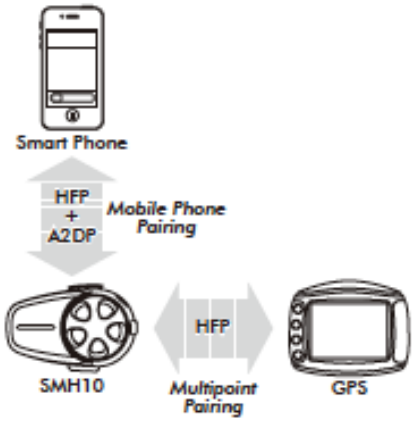
1	SMH10 の電源をオンにし、フォンボタンを 5 秒間押し続けてください。赤色 LED と青色 LED が点滅し、ビープ音が聞こえ、「電話ペアリング」という音声が聞こえます。
2	スマートフォン、携帯電話側の Bluetooth 検索から、SMH10 をサーチし、接続（ペアリング）してください。Bluetooth 機器検索リスト上には”SMH10”と表示されるはずです。
3	PIN コードが必要な場合、0000 を入力してください。（お使いのスマートフォンによっては入力不要です）ペアリングが完了すると、「ペアリングされました」という音声が聞こえます。これで、携帯電話とのペアリングが完了しました。

2 台目の携帯電話（HFP 機器）とマルチペアリング

2 台めの携帯電話（スマホ）ともペアリングする事により、2 台の携帯電話を使用できるようになります。（Ver.4.2 以降）

1	すでに 1 台めの携帯電話とつないだ SMH10 の電源をオンにし、ジョグダイヤルを 5 秒間押し続けてください。赤色 LED が点滅し、ビープ音が聞こえます。
2	2 秒以内に、フォンボタンをタップしてください。すると、青色 LED が点滅します。そしてビープ音と共に、「マルチポイントペアリング」という音声が聞こえます。
3	スマートフォン、携帯電話側の Bluetooth 検索から、SMH10 をサーチし、接続（ペアリング）してください。Bluetooth 機器検索リスト上には”SMH10”と表示されるはずです。
4	PIN コードが必要な場合、0000 を入力してください。（お使いのスマートフォンによっては入力不要です）ペアリングが完了すると、「ペアリングされました」という音声が聞こえます。これで、2 台めの携帯電話とのペアリングが完了しました。

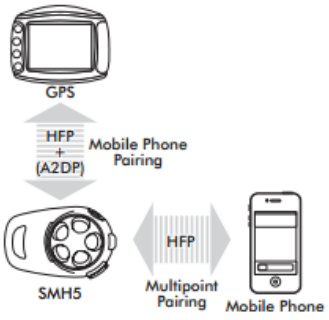
（重要）Bluetooth 携帯電話から Bluetooth デバイスを検索する操作について、その携帯電話の設定方法をご確認ください。 例えば、Bluetooth 機能がオンになっているかご確認ください。
また、携帯だけではなく、HFP を使用する SR10、GPS ナビ等様々な機器を 2 台同時につなぐ事が出来ます。使う用途に応じてつなぎ方等を工夫してご使用ください。（下図参照）



GPS ナビの MP3 機能等を使用しながら携帯ともマルチペアリングする方法

音楽を GPS ナビの MP3 機能（A2DP）から楽しみつつ、音声案内(HFP)を聞き、なおかつ携帯電話の電話機能も使いたい場合、以下の順番でつないでください。
ステップ 1. GPS ナビとペアリング：（ナビ音声（HFP）と MP3 オーディオ（A2DP）がペアリング
ステップ 2.携帯電話とマルチペアリング(HFP)

このつなぎ方により、GPS ナビからは音楽とナビ音声が聞こえ、携帯電話・スマホからは、電話機能のみが使えるようになります。（携帯電話からの音楽は再生できません）



GPS Pairing as Mobile Phone

使用するペアリングを選択してペアリングする方法(A2DP/HandsFree)

スマートフォン等、携帯電話に MP3 音楽再生機能を持っている場合、ペアリング時にプロファイルを選択する必要があります。例えば、A2DP プロファイルでペアリングすると、ステレオ音楽再生専用になり、Handsfree プロファイルでペアリングすると、電話機能専用になります。
以下の手順は、スマートフォンおよび Bluetooth 機能を良く理解している方用であり、スマートフォンと SMH10 をペアリングする際に、限定機能のみを使用したい場合に行ってください。

既に一度スマートフォンとのペアリングがされている場合、一度両方の機器からペアリング履歴をクリア（消去）し、工場出荷時の状態（ファクトリリセット）にする必要があります。ファクトリリセット方法は本マニュアルを参照してください。スマートフォン側の履歴のクリア方法は、各スマートフォンマニュアルを参照してください。

A2DP(ステレオ音楽再生専用)とペアリング

1	Sena SMH10 の電源をオンにします。
2	Sena SMH10 メインユニットのフォンボタンを約 5 秒押し続けます。LED の色が赤と青を繰り返し点滅します。同時に、“ティティティ”とビープ音が鳴り、「電話ペアリング」という音声がきこえます。
3	２秒以内に、ジョグダイヤルをもう一度タップしてください。すると LED が赤色に点滅し、ビープ音がダブルミッドトーンに変化します。”メディア選択ペアリング”という音声案内が聞こえます。
4	お使いの携帯電話／スマートフォンから Bluetooth 機器検索で SMH10 を検索します。Bluetooth 機器検索リスト上には”SMH10”と表示されるはずです。必要に応じて 0000 の PIN を入力してください。これで、HFP のみのペアリングが終了しました。

HFP(HandsFreeProfile)とペアリング

1	Sena SMH10 の電源をオンにします。
2	Sena SMH10 メインユニットのフォンボタンを約 5 秒押し続けます。LED の色が赤と青を繰り返し点滅します。同時に、“ティティティ”とビープ音が鳴り、「電話ペアリング」という音声がきこえます。
3	２秒以内に、フォンボタンをもう一度タップしてください。すると LED が青色に点滅し、ビープ音がマルチミッドトーンに変化します。”電話選択ペアリング”という音声案内が聞こえます。
4	お使いの携帯電話／スマートフォンから Bluetooth 機器検索で SMH10 を検索します。Bluetooth 機器検索リスト上には”SMH10”と表示されるはずです。必要に応じて 0000 の PIN を入力してください。これで、HFP のみのペアリングが終了しました。

Bluetooth MP3 音楽プレーヤーとペアリング

1	Sena SMH10 の電源をオンにします。
2	Sena SMH10 メインユニットのフォンボタンを約 5 秒押し続けます。LED の色が赤と青を繰り返し点滅します。同時に、“ティティティ”とビープ音が鳴り、「電話ペアリング」という音声がきこえます。
3	音楽プレーヤの Bluetooth 設定画面から、SMH10 を選択、ペアリング接続してください。
4	音楽プレーヤーとペアリングが成功すると、SMH10 のスピーカーから”ペアリングされました”という音声案内が聞こえます。これでペアリングが成功しました。

注意: 携帯電話にある MP3 音楽プレーヤー機能と SMH10 とのペアリングする時、Bluetooth プロファイルを選択してペアリングする場合があります。音楽プレーヤー機能を使用するには、A2DP(ステレオヘッドセットプロファイル)を選択してください。
携帯電話/スマホの、携帯電話機能、音楽プレーヤー機能両方を使う場合、ハンズフリー(HFP)、ステレオ･ヘッドセット(A2DP)の２種類でペアリングします。多くの場合、自動的にペアリングされます。

Bluetooth GPS ナビ・レーダー探知機とペアリング

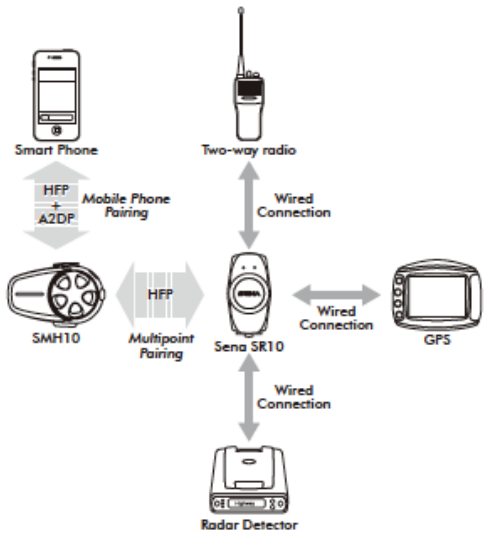
1	Sena SMH10 の電源をオンにします。
2	Sena SMH10 メインユニットのフォンボタンを約 5 秒押し続けます。LED の色が赤と青を繰り返し点滅します。同時に、“ティティティ”とビープ音が鳴り、「電話ペアリング」という音声がきこえます。
3	GPS ナビの Bluetooth 設定画面から、SMH10 を選択、ペアリング接続してください。
4	GPS ナビとペアリングが成功すると、SMH10 のスピーカーから”ペアリングされました”という音声案内が聞こえます。これでペアリングが成功しました。

注意: GPS ナビには HFP または A2DP をサポートする二種類の機種があります。同時に使う機器のプロファイル種類と接続できる台数を確認しながら、接続してください。また、スマートフォン内蔵のアプリによる GPS ナビはアプリのプログラムによっては、うまく音声案内が Bluetooth で飛ばない場合もございます。

SR10 とペアリング

1	Sena SMH10 の電源をオンにします。
2	Sena SMH10 メインユニットのフォンボタンを約 5 秒押し続けます。LED の色が赤と青を繰り返し点滅します。同時に、“ティティティ”とビープ音が鳴り、「電話ペアリング」という音声がきこえます。
3	SR10 の電源をオンにし、ペアリングボタンを 5 秒間押し続けてください。
4	SR10 とペアリングが成功すると、SMH10 のスピーカーから”ペアリングされました”という音声案内が聞こえます。これでペアリングが成功しました。

注意: SR10 は HFP をサポートしています。携帯電話・スマホと同時に使用する場合、SR10 を 2 台めとしてマルチペアリング接続してください。また、HFP はモノラル音声となるため、オーディオ音楽プレーヤー再生には適しません。



Sena SR10 と SMH10 との接続には HFP を使用します。左図の様に、SR10 に無線機、GPS ナビ、レーダー探知機と SR10 ケーブルでつなぎ、SR10 と SMH10 をマルチポイントペアリングします。すると、無線機器、GPS ナビ、レーダー探知機からくる音声案内、無線受信等は SR10 の HFP を通して SMH10 から聞こえます。インカムや電話で通話中、音楽再生中にも、バックグラウンドでそれらの音声が SMH10 の耳元に届くようになります。

SM10 とペアリング

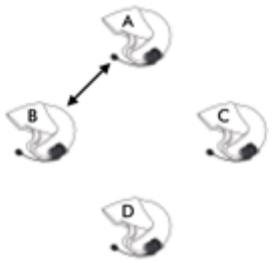
1	Sena SMH10 の電源をオンにします。
2	Sena SMH10 メインユニットのフォンボタンを約 5 秒押し続けます。LED の色が赤と青を繰り返し点滅します。同時に、“ティティティ”とビープ音が鳴り、「電話ペアリング」という音声がきこえます。
3	SM10 の電源をオンにし、ペアリングボタンを 5 秒間押し続けてください。
4	SM10 とペアリングが成功すると、SMH10 のスピーカーから”ペアリングされました”という音声案内が聞こえます。これでペアリングが成功しました。

注意: SM10 は A2DP をサポートしています。携帯電話・スマホと同時に使用する場合、SM10 をまず先にペアリングしてください。

SMH10 同士でインカム通信

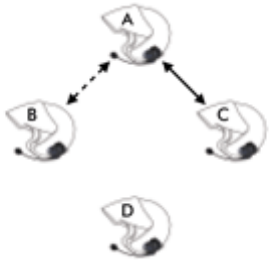
SMH10 と他の SMH 同士、互いにインカム通信するための初期設定は、次のように行います。

1	1 台の SMH10 と他 3 台の SMH とのペアリングを行います。ここでペアリング設定を説明するために、4 台の SMH10 を、A，B，C，Dとします。2 台ずつペアリングを行うので、最初にＡとＢから始めます。
2	まず、A，Bの電源をオンにします。 Aのジョグダイヤルを約 5 秒押します。すると、Aのメインユニット上の LED が赤く点滅します
3	次に、Bのジョグダイヤルも約 5 秒押してください。LED が赤く点滅します
4	A，Bのうち、片方のジョグダイヤルをタップします。すると、A，B両方の LED が赤の点滅から青に変わります。これで、A，Bのペアリングは完了しました。AまたはBのジョグダイヤルをタップすると、通話が開始します。

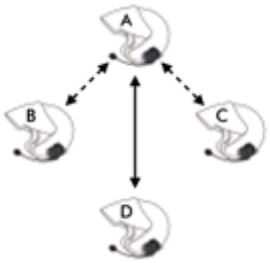


Ａと Ｂ のペアリング

5	次に、ＡとＣ，ＡとＤのそれぞれの組み合わせで、ＡとＢのペアリング設定と同様にペアリングする。



Ａと Ｃ のペアリング



A と D のペアリング

6	A，B，C，Dの SMH10 が互いにペアリング完了しました。

（重要）
A，B，C，D間でインカム通話する順番:
A から会話をする場合、 最後にペアリングした SMH10D とは、1 回タップして通話開始、2 番目にペアリングした B とは、2 回タップして会話を開始、最初にペアリングした SMH10A とは 3 回タップして通話を開始します。

例えば、上記に説明したA，B，C，Dそれぞれの順でペアリングした時、A の最初のインカム通話の相手は D で、2 番目がC，3番目が B となります。

例：
SMH10A--------　①SMH10B–3回タップ　(最初に A とペアリング)
　②SMH10C–2 回タップ　(2 番目に A とペアリング)
　③SMH10D–1 回タップ　(3 番目に A とペアリング)

SMH10B--------　①SMH10A–3回タップ　(最初に B とペアリング)
　②SMH10C–2 回タップ　(2 番目に B とペアリング)
　③SMH10D–1 回タップ　(3 番目に B とペアリング)

SMH10C--------　①SMH10A–3回タップ　(最初に C とペアリング)
　②SMH10B–2 回タップ　(2 番目に C とペアリング)
　③SMH10D–1 回タップ　(3 番目に C とペアリング)

SMH10D--------　①SMH10A–3回タップ　(最初に D とペアリング)
　②SMH10B–2 回タップ　(2 番目に D とペアリング)
　③SMH10C–1 回タップ　(3 番目に D とペアリング)

SMH10 の操作方法

ジョグダイヤルの操作	フォンボタンの操作
・ 音量調節 ・ インカム同士のペアリング ・ インカム通信の開始・終了 ・ MP3 音楽プレーヤーの再生・停止 ・ MP3 音楽プレーヤーの早送り・巻き戻し ・ 携帯電話に応答 ・ 着信通話の応答拒否 ・ インカム VOX 機能のオン・オフ	・ 携帯電話・スマートフォンとのペアリング ・ GPS ナビ、音楽プレーヤーとのペアリング ・ SM10、SR10 とのペアリング ・ 携帯電話への通話発信、応答 ・ 電話 VOX 機能のオン・オフ

SMH10 各種設定メニュー機能

SMH10 の音声ガイダンスにより、各種設定を行う事ができます。

1. 音声ガイダンスによる設定操作を行なうには、ジョグダイヤルを 12 秒間押し続けてください。LED が青色点灯状態になり、ダブルビープ音が聞こえます。”設定メニュー”という音声ガイダンスが聞こえます。

2. ジョグダイヤルを時計回り、または反時計回りに回すことにより、設定変更メニューを切り替えます。

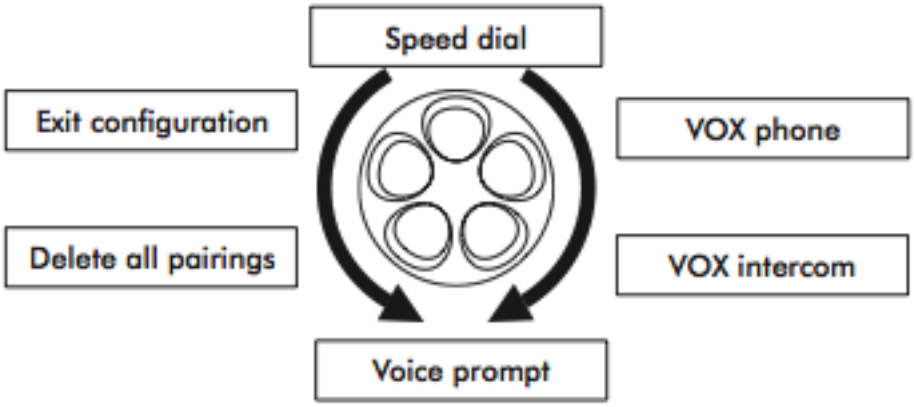
3. 設定したい内容が聞こえたら、フォンボタンを一度タップします。もう一度タップすることにより、別の設定を選択しなおすことが出来ます。

4. 何のボタンも 10 秒間押されない場合、SMH10 は設定メニューを解除し、スタンバイモードに戻ります。

5. すぐに設定メニューを終了する場合、ジョグダイヤルを回し続けてください。”設定終了”という音声ガイダンスが聞こえたら、フォンボタンを押してください。

各設定メニューの音声ガイダンス

(1) スピードダイヤル設定
(2) VOX 電話設定
(3) VOX インカム設定
(4) 音声案内
(5) サイドトーン
(6) 全てのペアリングを削除
(7) 設定メニュー終了



1. スピードダイヤル機能

音声案内	スピードダイヤル
初期値	なし
機能オン	フォンボタンをタップ
	SMH10 または PC のマネージャーソフトから、SMH10 に 3 件の電話番号を登録、スピードダイヤルが可能です。以下の動作を行う前に、事前に SMH10 とスマート(+)をペアリングしてください。

1. スピードダイヤルに電話番号を割り当てるには、「スピードダイヤル」と聞こえるまでジョグダイヤルを回してください。
2. フォンボタンをタップします。「スピードダイヤル 1」および「電話が接続されました」と聞こえます。
3. ジョグダイヤルを回しながらスピードダイヤルを選択してください。
4. 保存したい電話番号でスマートフォンから電話をかけます。
5. 「スピードダイヤルを保存しました」という音声案内が聞こえます。電話番号は自動的に保存され、今回かけた電話は自動的に切断されます。

2. VOX 電話設定

音声案内	VOX 電話
初期値	有効
機能オン	フォンボタンをタップ
機能オフ	ジョグダイヤルをタップ

この機能をオンにすると、電話がかかってきたときに、ボタンをタップすることなく、マイクにむかって大声で話しかけるだけで電話にでることができます。電話の着信音がきこえたら、マイクにむかって「もしもし」と話すと、電話にでます。この機能がオフの場合、フォンボタンまたはジョグダイヤルをタップすることにより、電話にでることができます。

3. VOX インターコム設定

音声案内	VOX インターコム
初期値	有効
機能オン	フォンボタンをタップ
機能オフ	ジョグダイヤルをタップ

この機能をオンにすると、ボタンをタップすることなく、マイクにむかって大声で話しかけるだけでインカム通話を開始できます。いちばん簡単な方法はマイクにむかってほこりを取る時の要領でふっと強く息を吹きかける事によって会話を開始できます。

4. 音声案内

音声案内	音声案内
初期値	有効
機能オン	フォンボタンをタップ
機能オフ	ジョグダイヤルをタップ

音声案内は通常オンですが、オフにすることもできます。しかし、下記の音声案内は常にオンのままです。

- 設定メニューの音声案内
- バッテリーの残量案内

- 初期化の音声案内

5. サイドトーン

音声案内	サイドトーン
初期値	オフ
機能オン	フォンボタンをタップ
機能オフ	ジョグダイヤルをタップ

この機能をオンにすると、自分の声が自分のインカムスピーカーから聞こえるようになります。状況と環境によっては、より自然な音量で話す助けとなります。

6. 全てのペアリングを削除

音声案内	全てのペアリングを削除する
初期値	なし
実行	フォンボタンをタップ

ボタンをタップすることにより、SMH10 内にある全てのペアリング情報を消去します。

7. 設定メニュー終了

音声案内	設定メニュー終了
初期値	なし
実行	フォンボタンをタップ

フォンボタンをタップすることにより、設定メニューを終了します。

音量調整

音量はジョグダイヤルを回して調節します。聴く対象機器ごとにそれぞれの音量設定が可能で、Bluetooth·MP3 音楽プレーヤーで音楽を聞く時、携帯電話での通話音量、SMH10 同士でインカム通信音量、それぞれ設定した音量を記憶します。電源オフしてもその設定は記憶されているので、再びオンした時、設定した音量で聴くことができる。

携帯電話(スマートフォン)と使う

電話着信時に、通話を開始

- 携帯電話に着信時､着信音はSMH10のスピーカーから聞こえてきます｡通話を開始するには､SMH10のジョグダイヤルまたはフォンボタンをタップします。
- VOX(ボイスアクティベート)機能をオンにすると、マイクに向かって大声で話しかけるだけで、通話を開始する事もできます。SMH10 の初期の状態は、この機能がオンになっています。VOX 機能の設定方法は、以下の項目を参照してください。

着信電話を応答拒否する

着信音がなっている間、ジョグ·ダイヤルを約２秒押し続けると応答拒否します。

Bluetooth 機器の切り替え

音楽を聴いている途中に、携帯電話へ切り替え、インカムでの通話途中に携帯電話通話へ切り替え、携帯電話から音楽を聴く MP3 プレーヤーへ、あるいは、インカム通話への切り替えは、通話途中でジョグ・ダイヤルを一回押します。
切り替えが行われる時、短いビープ音、長いビープ音が聞こえます。

電話をかける・電話にでる方法

1. 電話着信があると、フォンボタンまたはジョグダイヤルを一度タップすると電話通話が開始します。
2. VOX 機能をオンにしている場合は、着信中にマイクに向かって大声で話しかけると、電話に出る事ができます。
3. 通話終了はフォンボタンをタップするか、ジョグダイヤルをビープ音が聞こえるまで２秒間押し続けてください。
4. 着信拒否の場合はジョグダイヤルをビープ音が聞こえるまで２秒間押し続けてください。

5. 電話中にヘッドセットに転送する場合、フォンボタンをビープ音が聞こえるまで 2 秒間押し続けてください。
6. 電話をかける方法

・スマホの画面から直接電話をかける。音声は自動的に Bluetooth 接続された SMH10 に転送されます。携帯電話の中には自動的に転送しない場合があります。その場合は、フォンボタンを一度タップしてください。

・スタンバイ状態でフォンボタンをタップすると、Siri のようなスマホ側の音声案内を起動し、電話をかける事ができるようになります。詳細は、スマホのマニュアルを参照してください。

スピードダイヤル機能を使用して電話をかける

1	SMH10 のフォンボタンをダブルタップします。
2	ミッドトーンのビープ音が聞こえ、「スピードダイヤル」の音声案内が聞こえます。
3	ジョグダイヤルを回しながら、1–3 のスピードダイヤルを選択してください。 (1). 最後にかけた番号 (2). スピードダイヤル 1 (3). スピードダイヤル 2 (4). スピードダイヤル 3 (5). 終了
4	選択後、ジョグダイヤルまたはフォンボタンをタップすると、電話をかけます。
5	スピードダイヤルに電話をかける場合、ジョグダイヤルを時計回りまたは半時計回りに回しながら、スピードダイヤル番号を選択、その後フォンボタンまたはジョグダイヤルをタップします。
6	スピードダイヤルを終了する場合は、ジョグダイヤルを「キャンセル」と聞こえるまでまわしてから、ジョグダイヤルまたはフォンボタンをタップしてください。15 秒間なにもしない場合でも、自然にオフになります。
	（注意）この機能をつかうには、電話が Bluetooth 接続されている必要があります。

電話応答	フォンボタンまたはジョグダイヤルをタップ、VOX の場合は、マイクに向かって大声
会話終了	フォンボタンをタップまたはジョグダイヤルを 2 秒押し続ける
着信応答拒否	ジョグダイヤルを 2 秒間押す
電話をかける	電話のキーパッドを使用
スピードダイヤル	フォンボタンを 2 度タップ
ボイスコマンド	フォンボタンをタップ

インカム通話

インカム(SMH10 同士)の通話開始と通話相手の選択

SMH10 のジョグダイヤルボタンを押すと、ペアリングしている相手インカムと通話ができます。１番目の相手との通話には一回ボタンをプッシュ、２番目の相手との通話は二回ボタンをプッシュ、３番目の相手との通話には三回ボタンをプッシュします。

（備考）
SMH10 同士の複数ペアリング方法は、別項目 Bluetooth 機器とペアリングを参照してください。
複数の SMH10 同士での同時会話機能は別項目を参照してください。

インカム通話を終了する

通話途中で終了するには、ジョグ･ダイヤルを 1 秒間押します（ビープ音がきこえるまで押す）。

インカムと携帯電話着信との関係

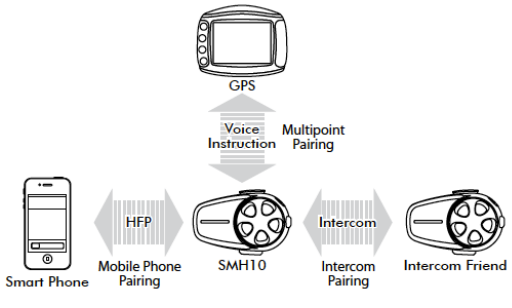
インカム通信時、携帯電話からの着信があるとします。その場合、２種類の決定を選択することができます。

1. 携帯着信をとり、携帯電話での通話を開始する。
   ジョグダイヤルか、フォンボタンをタップします。電話通話が終了すると、自然にインカム通話に復帰します。
2. 携帯着信の応答を拒否し、インカム会話を続ける。
   ジョグダイヤルを 2 秒間押し続けてください。ビープ音が聞こえます。

電話通話中にインカム(SMH10)からの着信がある場合、スピーカーからは４回高トーンビープ音がと”I インターコムに要求しました”という音声ガイダンスが聞こえます。この場合、インカム通話が電話通話を中断することはないので、もしインカム通話に切り替えたい場合は、一度電話通話を終了し、それからインカムにかけ直してください。

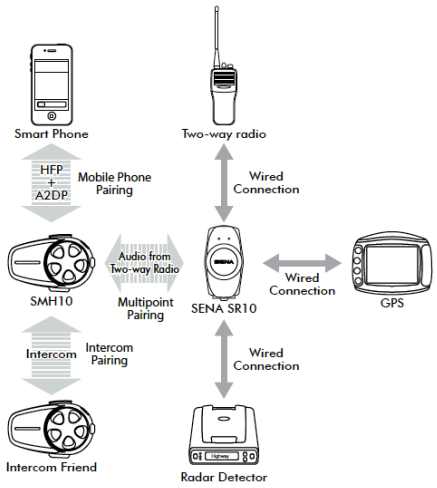
インカムと GPS ナビとの関係

SMH10 と GPS ナビをペアリングすると、インカム会話中に GPS ナビの音声ガイダンスが聞こえてきます。通常は,インカム会話が一時中断し、ナビの音声ガイダンスが聞こえ、ガイダンスが終了すると、自動的にインカム通話が復帰します。



インカムと SR10 との関係

SMH10 と SR10 をペアリングすると、インカム会話中に SR10 経由で GPS ナビの音声ガイダンス、無線音声、レーダー探知機ガイダンス等バックグラウンドで聞こえてきます。通常は,インカム会話を中断することなく、常に無線機器の音声や、GPS ナビガイダンスを聞き逃すことが無くなります。

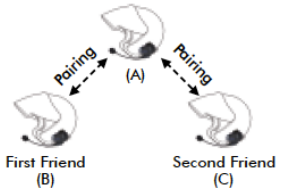


3 者同時通話機能

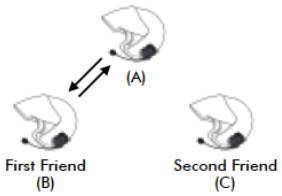
1 台の SMH10(A)に対して、別の2台(B&C)を設定することにより、3-Way 同時通話設定をすることが可能になります。3人以上が同時に会話を楽しむ事ができるようになりました。 同時通話を行っている間も、それぞれのインターコムにペアリングされている Bluetooth 機器(携帯電話、スマートフォン、GPS ナビ、MP3プレーヤ等)の接続を維持できます。

*1 SMH10 ファームウェア ver.3.0.以上

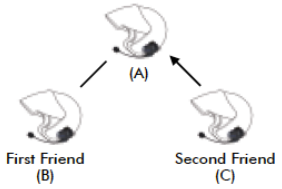
1. 最初に、A と B, そして A と C 同士でペアリング設定をしてください。



2. 最初に一人目(B)の友人とインターコム通話を開始します。ジョグダイヤルを1度タップしてください。(これで A-B 間がインターコム通話状態になりました)



3. 通話状態を維持したまま、次に A と C の会話を確立します。A のジョグダイヤルを2度タップして C を呼ぶか、または C から A を呼び出して応答します。



4. これで、A-B-C 間で同時に会話を楽しむ事ができるようになりました。

この 3-Way 同時通話機能のおかげで、すでに会話をしている時に、同時に他の人が会話に参加できるようになりました。また、A,B,C 全ての SMH10 ヘッドセットはヘッドセット会議中でも、Bluetooth による携帯電話着信に応答できます。

3 者同時通話を終了する方法

全ての通話を終了する場合と、メンバーの一人とだけ終了する場合の2種類の終了方法があります。

1. ジョグダイヤルを 1 秒間押し続けると、同時通話メンバー内との通話を完全に終了します。接続形態の A に位置している場合、B および C との接続両方とも終了します。
2. 1 度、または2度ジョグダイヤルをタップすることにより、現在接続している2台のうちの片方との接続を終了します。例えば、同時接続形態の A に位置している場合、1度タップすると、最初につないだ B との接続を終了しますが、C との接続は継続されます。同様に、2 度タップすると、C との接続を終了しますが、B との接続は継続されます。

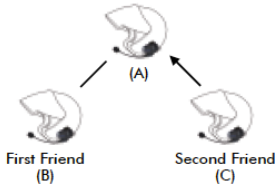
ジョグダイヤル操作	動作
1 秒間押す	B&C と会話終了
1 回タップ	B と会話終了
2 回タップ	C と会話終了

4 者同時通話機能

3 者同時通話を設定した 3 台に、もう一台 SMH10 を追加することにより、4 者同時通話機能設定が可能になります。同時通話を行っている間も、それぞれのインターコムにペアリングされている Bluetooth 機器(携帯電話、スマートフォン、GPS ナビ、MP3プレーヤ等)の接続を維持できます。

*1 SMH10 ファームウェア ver.4.0.以上

1. 3 者同時通話状態を維持した A,B,C 三台に、D を追加します。次に C と D をペアリングしてください。(注意)A と D はペアリングしません。



2. D から C を呼び出してください。これで A-B-C-D の 4 者で一緒に会話ができるようになりました。

A,B,C,D 全ての SMH10 ヘッドセットはヘッドセット会議中でも、Bluetooth による携帯電話着信に応答できます。

3 者同時通話を終了する方法

全ての通話を終了する場合と、メンバーの一人とだけ終了する場合の2種類の終了方法があります。

3. ジョグダイヤルを 1 秒間押し続けると、同時通話メンバー内との通話を完全に終了します。接続形態の A に位置している場合、B,C および D との接続両方とも終了します。
4. 1 度、または2度ジョグダイヤルをタップすることにより、現在接続している2台のうちの片方との接続を終了します。例えば、同時接続形態の A に位置している場合、1度タップすると、最初につないだ B との接続を終了しますが、C および D との接続は継続されます。同様に、2 度タップすると、C および D との接続を終了しますが、B との接続は継続されます。

ジョグダイヤル操作	動作
1 秒間押す	B,C,D と会話終了
1 回タップ	B と会話終了
2 回タップ	C,D と会話終了

ライダーとタンデマー間のミュージックシェア（音楽共有）機能

この設定を行う前に、2 台の SMH10 をペアリング、そして、片方の SMH10 と音楽プレーヤーとをペアリングしてください。

1	2 台の SMH10 の電源をオンにしてください。すると電話接続またはメディア接続という音声案内が聞こえます
2	ジョグダイヤルをタップして、相手のインカム相手と会話を開始します。
3	ジョグダイヤルを約 1 秒間、ダブルビープ音が聞こえるまで押し続けてください。インカム通話が中断し、音楽共有機能が開始します。

4	ミュージックシェア機能を使用中に、インカム通話をしたい場合は、自分もしくはタンデマーがジョグダイヤルをタップします。音楽が中断し、インカム会話が始まります。ミュージックシェアに戻る時は、再度ジョグダイヤルをタップしてください。
5	音楽プレーヤーの操作はジョグダイヤルを押し回すことにより、早送り、巻き戻しが可能です。

ミュージックシェア機能を終了するには、ジョグダイヤルを約一秒間ダブルビープ音が聞こえるまで押し続けてください。ミュージックシェア機能が終了すると、自動的にインカム通話が再開します。

ユニバーサルインターコム（他社インカムとの会話）機能

ユニバーサルペアリングとは、SMH10 と他社製インカム(以下ユニバーサル)を HSP を使って Bluetooth 接続、お互いに会話できるようになる機能です。(SMH10 ファームウェア ver.5.0 以降)

知るべきポイント

HFP と同様のプロファイルを使用して通信を行うため、電話機能が犠牲になります。SMH10 の場合、マルチポイント以外の HFP 接続ができなくなります。

SMH10 側で電話機能をつかいつつ、ユニバーサル機能を使用するには、電話でつかうスマホをマルチポイント接続します。

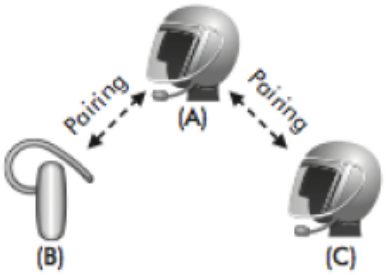
ペアリング方法　（SMH10 とユニバーサルの場合）

1	SMH10 の電源をオンにし、ジョグダイヤルを 8 秒間押し続けてください。（ユニバーサルインターコム）と聞こえます。
2	他社製インターコムを操作し、電話とペアリングする操作を行います。
3	SMH10 のジョグダイヤルをタップします。

会話開始方法

1	SMH10 から会話を始める場合、ジョグダイヤルを一回タップして開始します。
2	他社製インターコムから会話を開始する場合、リダイヤル操作、またはボイスダイヤル操作により開始します。
3	複数のインカムを同時につないでいる場合、SMH10 のタップ回数で会話相手を変えます。

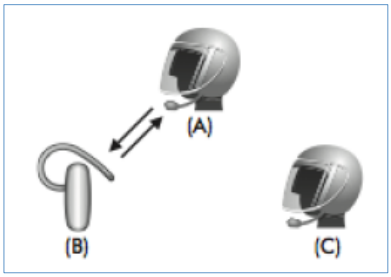
3-way の接続方法　（SMH10x2、ユニバーサル x1）



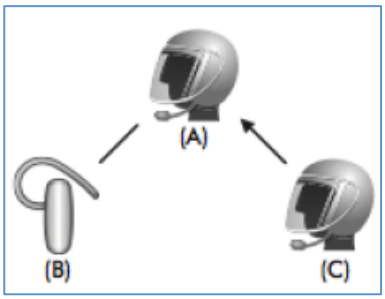
1	SMH10A と SMH10C を通常ペアリングしてください。
2	SMH10A とユニバーサル B をユニバーサルペアリングしてください。

同時会話開始方法

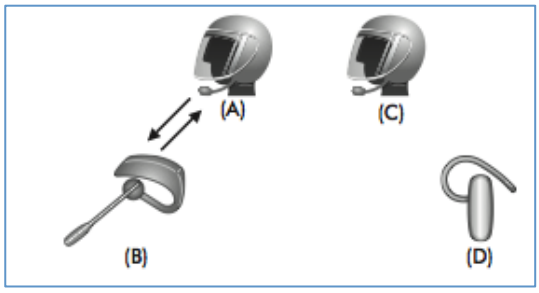
1.　SMH10A とユニバーサル B で会話を開始します。



2.　SMH10C から SMH10A に会話開始してください。



4-way の接続方法　（SMH10x2、ユニバーサル x2）

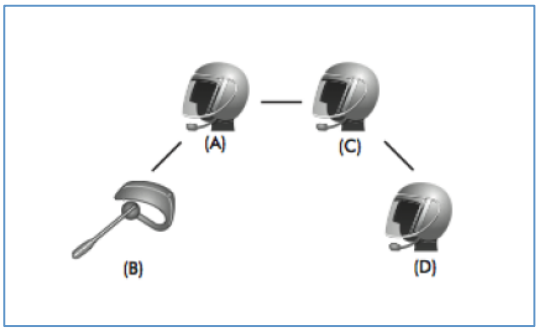


1	SMH10A とユニバーサル B をユニバーサルペアリングしてください。
2	SMH10C とユニバーサル D をユニバーサルペアリングしてください。
3	SMH10A と SMH10C を通常ペアリングしてください。

同時会話開始方法
1. SMH10A とユニバーサル B で会話を開始します。
2. SMH10B と SMH10C で会話を開始します。
3. ユニバーサル D から SMH10C へ会話を開始します。

これで 4 台のインカムが同時につながります。

4-way の接続方法　（SMH10x3、ユニバーサル x1）



1	SMH10A とユニバーサル B をユニバーサルペアリングしてください。
2	SMH10A と SMH10C を通常ペアリングしてください。
3	SMH10C と SMH10D を通常ペアリングしてください。

同時会話開始方法
1. SMH10A とユニバーサル B で会話を開始します。
2. SMH10B と SMH10C で会話を開始します。
3. SMH10D から SMH10C へ会話を開始します。

これで 4 台のインカムが同時につながります。

電話と２台の SMH10 で会議通話

電話と２台のインカム(SMH10)で一緒に会議会話が可能になります。
*SMH10 ファームウェア ver.4.0 以上
電話と SMH10A で会話中に、ジョグダイヤルボタンをタップすれば、SMH10B も会話に参加できるようになります。
着信した携帯電話と２つの SMH10 が一緒に会話できるようになります。

会話を終了する手順
インカム会話を先に終了：　ジョグダイヤルをタップ
電話通話を先に終了：　ジョグダイヤルを２秒間押しっぱなし、またはフォンボタンを押す。

インカム相手につながらない場合

インカム通信時、相手が携帯電話や別の２人の相手との通話中の場合はつながりません。相手を呼んだときに低いビープ音が２回鳴り、自分には”インターコム失敗”(相手がビジー（通話中）状態であること)を知らせます。着信相手にはハイピッチのビープ通知音がなり、こちらが電話でよんでいることを知らせます。そのような場合は、相手が会話可能になるのを待ち、しばらくしてから再び相手を呼んでください。

自動的に再接続する場合

インカムの通信中に相手との通信状態が悪化（例えば、距離や遮蔽物など）すると、雑音が生じたり、一定距離から相手から遠ざかると接続が切れる場合があります。　そのような時 SMH10 は、８秒毎に相手との再接続を自動的に試みます。その都度ハイピッチのビープ音が聞こえます。この自動再接続を中止したい時には、ジョグダイヤルを一回押してください。

音楽プレーヤーの再生

MP3 音楽プレーヤーと SMH10 との接続方法

・ステレオオーディオ AUX ケーブルで接続
オーディオステレオケーブルを使って音楽プレーヤーを、SMH10 クランプユニットにつないでください。音量の調節は、音楽プレーヤー本体またはジョグダイヤルで行えます。

Bluetooth 通信で接続
Bluetooth に対応している MP3 プレーヤーと Bluetooth ペアリングをして音楽を聴くことができます。（Bluetooth ペアリング方法は別項目を参照してください）SMH10 は AVRCP プロトコルをサポートしているので、Bluetooth 対応の MP3 プレーヤーもこのプロトコルをサポートしていれば、ジョグダイヤルを使ってして再生、停止、早送り、巻き戻し/コントロールができます。

音量調整

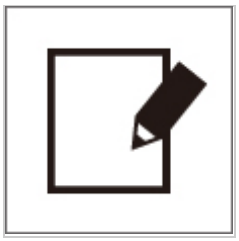
ジョグダイヤルを回して音量を調整します。

再生と停止

再生は、ジョグダイヤルを約 1 秒間押します。 停止は、ジョグダイヤルを約 1 秒間押します。再生/停止時にビープ音が鳴ります。

早送り、巻き戻し

早送り、巻き戻しは、ジョグダイヤルを押しながら、時計／反時計周りに回します。



操作の予備知識

機能に優先順位あり

SMH10 には複数の Bluetooth 機器をつなぐことができますが、それぞれの Bluetooth 機器と通信するための優先順位があります。

↑優先高
携帯電話通話（HFP)
インカム通信
有線オーディオ再生
Bluetooth オーディオ再生（A2DP）
↓優先低

優先順位の低い機能を使っているときに、優先順位の高い通信が割り込みます。　例えば、MP3 プレーヤーを SMH10 で聴いているとき、インカム通信が割り込み、インカム通信の途中で携帯電話の着信が割り込みます。携帯電話での会話が終了すれば、インカム通信をはじめることができ、インカム通信を終わらせれば、MP3 プレーヤーの音楽を SMH10 で聴くことができます。オーディオ機器をケーブルで SMH10 とつなぎ、再生する場合は、Bluetooth オーディオからの音楽は聞こえてきません。

工場初期化（工場出荷状態）する

SMH10 のメインユニットにあるフォンボタンを約 12 秒間押し続けると LED が赤に点灯します。そのときに”工場初期化”という音声案内が聞こえます。次にジョグダイヤルを 5 秒以内に押します。すると、初期状態（工場出荷状態：どの機器ともペアリングされていない状態）になります。また,”初期化完了、さようなら”という音声案内が聞こえます。

（注意）
SMH10 のメインユニットにあるフォンボタンを約 12 秒間押し続けて LED が赤に点灯した後、5 秒以内にジョグダイヤルを押さない場合、初期状態にはならず、始めにもどり待機状態になります。その時には、もう一度、SMH10 のメインユニットにあるフォンボタンを約 12 秒間押すことから始めてください。

SMH10 がサポートする Bluetooth プロファイル一覧

- Headset Profile
- Hand-Free Profile(HFP)
- Advanced Audio Distribution Profile (A2DP)
- Audio Video Remote Control Profile (AVRCP)

動作不具合が生じたとき

SMH10 がなんらかの理由で正しく動作しないことが生じた場合、リセットをしてください。 SMH10 の電源オン状態で、SMH10 メインユニットの裏にある小さなピンホール（穴）にピンなどで約 2 秒間押すと電源オフの状態になります。

（注意）
この方法で電源をオフにしても SMH10 が初期状態（工場出荷状態：どの機器ともペアリングされていない状態）になるわけではありません。

ファームウェア・アップグレード

SMH10 にはファームウェア・アップグレード機能があります。
サポート・ダウンロードのページ
http:senabluetooth.jp

免責・製品保証

免責

本製品を道路上での使用については、各地方自治体の条例、各都道府県の道路交通法に従って下さい。本製品使用時の法的責任はすべて使用者にあり、本製品のメーカー、輸入会社、及び販売会社は一切の法的な責任は負いません。

製品保証

製品保証期間は、購入日から 1 年です。ただし、ご利用される方の責による不具合、故障の場合には製品保証の対象外となる場合があります。製品のユーザーガイド、並びに、安全にお使いいただくために、を必ずご覧くださいますよう御願いします。詳しくは、弊社までお問い合わせください。

⋆保証契約約款⋆

この約款は、お客様が購入された弊社製品について、修理に関する保証の弊社条件等を規定するものです。お客様が、この約款に規定された条項に同意いただけない場合は、保証契約を取り消すことができますが、その場合は、ご購入の製品を使用することなく販売店または弊社にご返却ください。なお、この約款により、お客様の法律上の権利が制限されるものではありません。

第一条（定義）
１　この約款において、「保証書」とは、保証期間に製品が故障した場合に弊社が修理を行うことを約した重要な証明書をいいます。
２　この約款において、「故障」とは、お客様が正しい使用方法に基づいて製品を作動させた場合であっても、製品が正常に機能しない状態をいいます。
３　この約款において、「無償修理」とは、製品が故障した場合、弊社が無償で行う当該個所の修理をいいます。
４　この約款において、「無償保証」とは、この約款に規定された条件により、弊社がお客様に対し無償修理をお約束することをいいます。
５　この約款において、「有償修理」とは、製品が故障した場合であって、無償保証が適用されないとき、お客様から費用を頂戴して弊社が行う当該故障個所の修理をいいます。
６　この約款において、「製品」とは、弊社が販売に際して梱包された物のうち、本体部分をいい、付属品および添付品などは含まれません。
第二条（無償保証）
１ 製品が故障した場合、お客様は、保証書に記載された保証期間内に弊社に対し修理を依頼することにより、無償保証の適用を受けることができます。但し、次の各号に掲げる場合は、保証期間内であっても無償保証の適用を受けることはできません。
２　修理をご依頼される際に、保証書または、製品購入日を証明できる書類を提出できない場合。
３　お客様が製品をお買い上げいただいた後、お客様による運送または移動に際し、落下または衝撃等に起因して故障または破損した場合。
４　お客様における使用上の誤り、不当な改造もしくは修理、または、弊社が指定するもの以外の機器との接続により故障または破損した場合。
５　火災、地震、落雷、風水害、その他天変地異、または、以上電圧などの外部的要因により、故障または破損した場合。
６　消耗部品が自然摩耗または自然劣化し、消耗部品を取り換える場合。
７　前各号に掲げる場合のほか、故障の原因が、お客様の使用方法によると認められる場合。
第三条　（修理）
この約款の規定による修理は、次の各号に規定する条件の下で実施します。
１　修理のご依頼時には製品を弊社修理サポート宛までご送付ください。宛先については本マニュアルの修理サポートのご案内をご覧ください。尚、送料は送付元負担とさせていただきます。また、ご送付時には宅配便など送付控えが残る方法でご送付ください。郵送はお断り致します。
２　修理は、製品の分解または部品の交換もしくは補修により行います。但し、万一、修理が困難な場合または修理費用が製品価格を上回る場合には、保証対象の製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換することにより対応させていただくことがあります。
３　無償修理により、交換された旧部品または旧製品等は、弊社にて適宜廃棄処分させて頂きます。
第四条　（免責事項）
１　お客様がご購入された製品について、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当該製品の購入代金を限度と致します。

第五条　（有効範囲）
この約款は、日本国内においてのみ有効です。また海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証もいたしません。

製品保証

修理サポートご送付先：
〒150-0013
東京都渋谷区恵比寿 1-24-14 EXOS 恵比寿ビル 5F
株式会社インターソリューションマーケティング
修理サポート受付宛
Phone:03-5795-2685　Fax: 03-5795-2686
support@intersolutionmarketing.jp
[送付いただくもの]
本製品、保証書（または購入日を特定できる書類）、修理依頼票（弊社サイトからダウンロードできます）

品名　　：
製品モデル
型番/シリアル

保証期間　：ご購入日より１年
販売店　　：店名・住所・電話
印

ご購入日　(販売店様記入欄)　　年　　月　　日
＊購入日を確認できる領収書などのコピー添付を御願いします。

備考)保証約款は、本ページの裏に記載されています。

問い合わせ　http://senabluetooth.jp

SenaBluetooth Japan
株式会社インターソリューションマーケティング
〒150-0013
東京都渋谷区恵比寿 1-24-14
EXOS 恵比寿ビル 5F
Phone: 03-5795-2685 Fax: 03-5795-2686
Mail: support@senabluetooth.jp

発売元　（株）インターソリューションマーケティング
製造元　セナテクノロジーズ

©インターソリューションマーケティング 2014
SMH10
本ユーザーガイドは、日本国内正規ユーザー向けに株式会社インターソリューションマーケティングが作成しました。無断でコピー、配布、譲渡、ダウンロードはしないでください。
本製品の開発・製造は Sena Technologies Inc.です。製品名、会社名は、各社の商標あるいは登録商標です。
本製品仕様は断りなく変更されることがありますので予めご了承ください